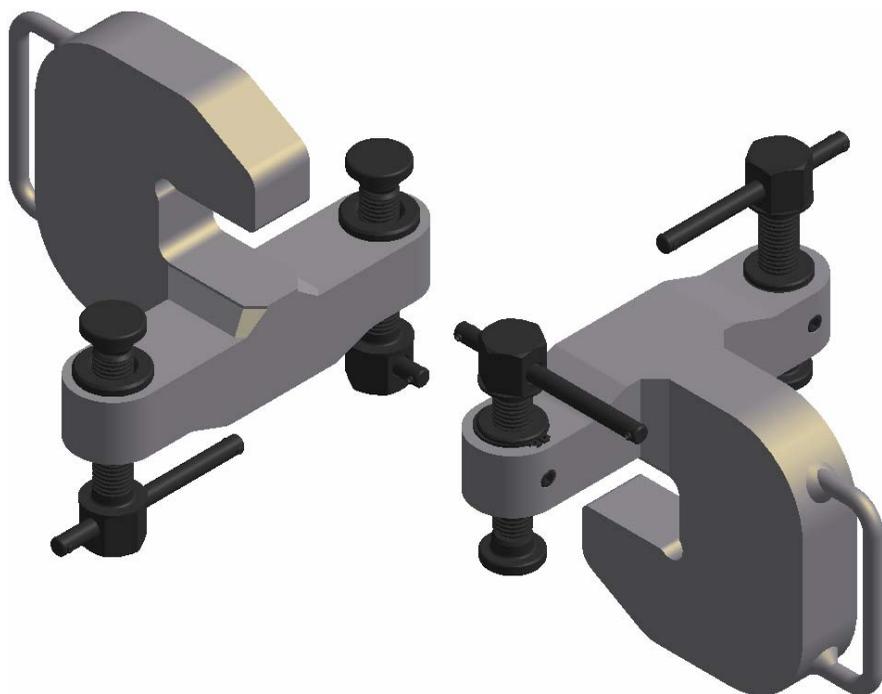


取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL

〈段差調整治具〉

レベルジャスト LEVELJUST



ご使用前に、必ずお読みください。

ご使用になる方、お一人に一冊ずつお渡しください。

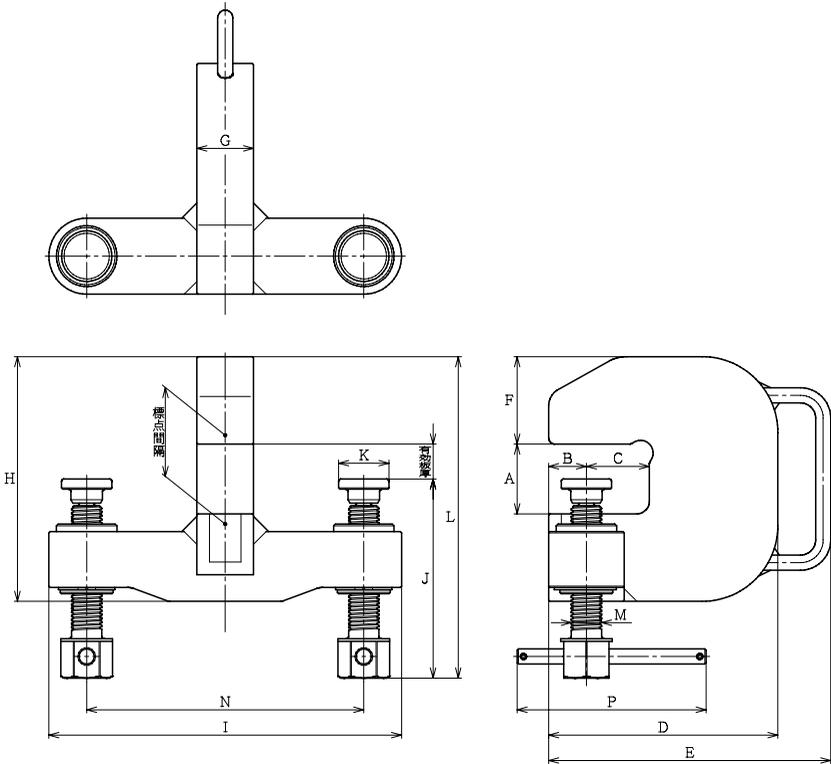
ご希望の方は、当社営業所までご請求ください。



ジロー株式会社

1. 仕様・寸法／分解構造図・部品名

●寸法図

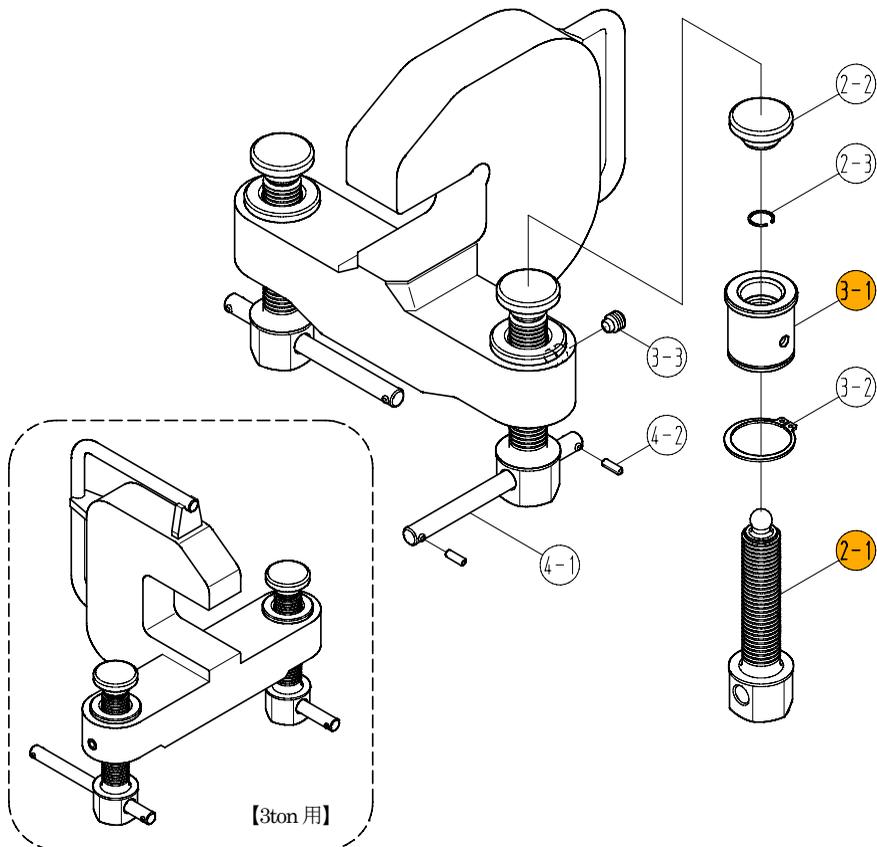


●仕様表

最大使用荷重	有効板厚 (mm)	寸法 (mm)								標点 間隔 (mm)	製品 質量 (kg)
		A	B	C	D	E	F	G	H		
3ton [1.5ton×2]	10~55	66	30	55	157	194	54	40	176	80	5.7
		I	J	K	L		M	N	P		
		280	155	φ40	252~312		φ24	220	150		
5ton [2.5ton×2]	5~45	A	B	C	D	E	F	G	H	70	7.3
		55	30	50	182	224	69	45	193		
		I	J	K	L		M	N	P		
		280	157	φ40	226~281		φ24	220	150		

	3ton用	5ton用
許容締付トルク	3290 N・cm (335kgf・cm)	5390 N・cm (550kgf・cm)

●分解構造図



●部品名

部品番号	品名	枝番	部品名	数
1	本体			1
2	締付ボルト	2-1	締付ボルト	2
		2-2	締付パッド	2
		2-3	サークリップ	2
3	スリーブナット	3-1	スリーブナット	2
		3-2	スナップリング	2
		3-3	止めねじ	2
4	締付ハンドル	4-1	締付ハンドル	2
		4-2	スプリングピン	4

■ 注油部品

2. 作業マニュアル

(1) 作業前の確認事項

作業開始前には必ず使用治具と作業内容を点検し、次の事項を確認してください。

① 表示内容の確認

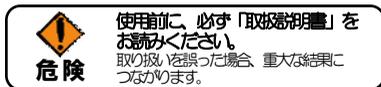
・ 危険

- 本体に表示された下記の事項を確認してください。
 - ・型式 ・最大使用荷重 ・有効板厚 ・危険

表示のないものや不鮮明なものは使用しないでください。

表示のないものや、表示に不具合があるものは使用現場に置かないでください。
下記の警告表示が貼り付けされていないものは使用しないでください。

貼り付けされていない場合は、必ず弊社までご請求の上、貼り付けを行ってください。



② 取付板厚の確認

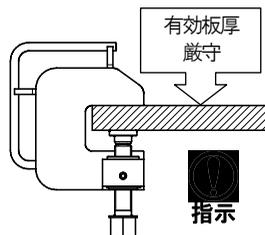
・ 危険

- 取り付ける板厚が使用治具の許容範囲内であること。

取り付ける板厚が有効板厚を超えるもの、または有効板厚以下のものには取り付けないでください。

板厚に適合した有効板厚の治具を使用してください。

取り付ける板厚が有効板厚より厚い場合、作業終了時に取り外すことができなくなる可能性があります。



③ 作業開始前の点検

・ 危険

- 作業前には必ず作業開始前の点検を行ってください。

治具の外観および機能を点検してください。

異常が認められた場合は使用禁止とし、分解点検を行い、部品の交換をするかメーカーまたはメーカー指定の場所に送付してください。

亀裂のあるもの、または変形や摩耗の著しいものは使用しないでください。

(2) 使用方法

・ 危険

- 取扱説明書の内容を熟知しない人は使用しないでください。
- 段差調整以外には使用しないでください。

1 作業開始前の点検

作業開始前には必ず外観の点検および作動確認を行い、異常があれば使用を中止すること。高所（落下高さが2m以上）にて使用する場合は、必ず落下防止対策を施してください。

・ 危険

- 異常のあるものは使用しないでください。

2 取り付け

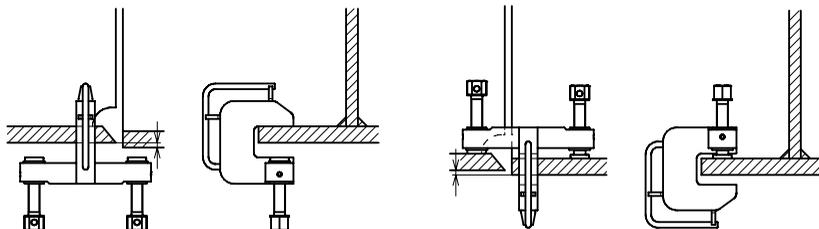
締めねじを緩め、開口を開き、取り付け部材に開口部の奥まで深く差し込む。

(A) 鋼材を押し上げて調整を行う場合

段差を確認し、上側になっている鋼材に本体受け部の全面が当たるようにして預ける。

(B) 鋼材を押し下げて調整を行う場合

段差を確認し、下側になっている鋼材に本体受け部がくるように預ける。

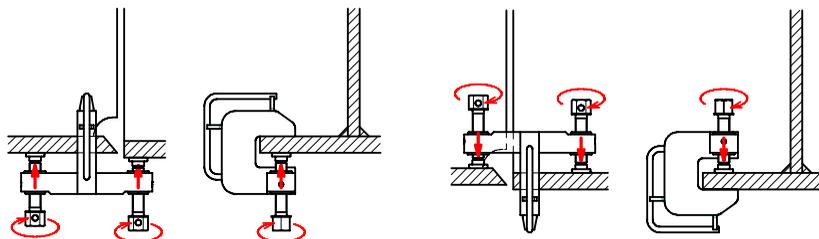


3 締め付け

本体または締め付パッドが鋼材に当たるまで、締め付ハンドルにより左右の締め付ボルトを締め付ける。この時、鋼材が開口部奥まで差し込まれていること、および受け前面が鋼材に当たっていることを確認してください。締め付状態が悪い場合は、締め付ボルトを緩め、本体を鋼材に押さえ付けながら締め付ボルトを締め付けてください。

(A) 鋼材を押し上げて調整を行う場合

(B) 鋼材を押し下げて調整を行う場合



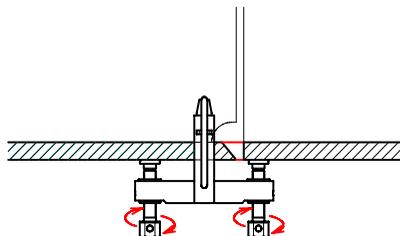
4 調整

鋼材の段差を確認しながら、高さが一定になるまで左右の締付ボルトを締め付けたり緩めたりして調整を行ってください。

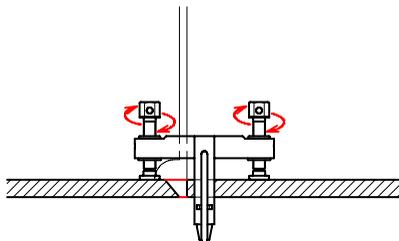
・ 注意

- 必ず許容締付トルク内にて使用してください。
3ton 用：3290 N・cm / 5ton (5ton 用 5390 N・cm)

(A) 鋼材を押し上げて調整を行う場合



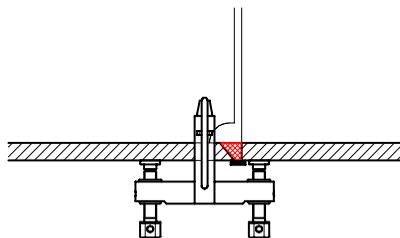
(B) 鋼材を押し下げて調整を行う場合



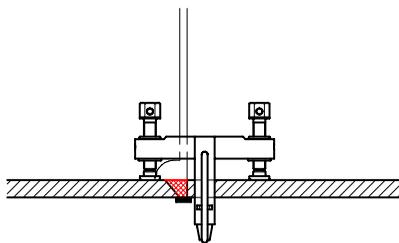
5 接合・取り外し

ゲージ等を使用して段差を確認してください。段差に問題がなければ、このまま接合を行ってください。接合された状態を確認し、締付ボルトを緩めて取り外してください。

(A) 鋼材を押し上げて調整を行う場合



(B) 鋼材を押し下げて調整を行う場合



3. 使用上の注意事項

作業者は正しい使用方法を習得し、安全な作業をしなければなりません。

誤った使用方法やオーバーロードにより治具が破損した場合は、破損請求の対象となる場合があります。

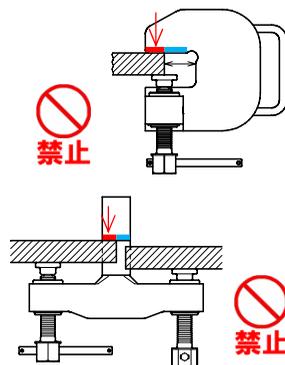
(1) **危険** 段差調整以外の作業厳禁

- ① **禁止** 本治具は、玉掛け用つり具ではありません。取っ手部にフックを取り付けて、鋼材のつり上げ作業等には絶対に使用しないでください。
- ② **指示** つり上げ・つり下げ作業を行う場合は、専用の玉掛け用つり具を使用してください。
- ③ **指示** 段差調整時の押さえ力以外の荷重がかからないようにしてください。



(2) **注意** 取り付け時の注意

- ① **指示** 取り付ける時は、必ず本体受け部全面が鋼材に当たるように取り付けて使用してください。
- ② **禁止** 本体受け部の先端にのみ荷重が掛かることや、段差部に取り付けて荷重を掛ける等、局部的に荷重が掛かる状態では使用しないでください。
- ③ **禁止** 受け部全面に鋼材が当たらない個所では使用しないでください。受け部が変形する原因となります。



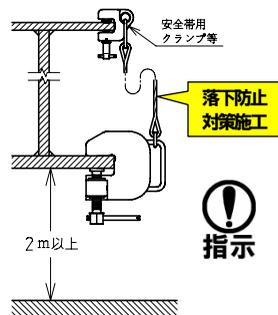
(3) **注意** 締め付け時の注意

- ① **指示** 必ず、許容締め付トルクの範囲内で締め付けを行ってください。【許容締め付トルク (P. 2 参照) の厳守】許容締め付トルクを超えて締め付けを行った場合、オーバーロードになり本体が破損する恐れがあります。
- ② **禁止** 締め付け時、ラチェットハンドルやハンマーで本体および締め付ボルトをたたいて衝撃を与えないでください。
- ③ **禁止** 締め付ボルトの六角部にある穴に、シノを差し込んだまま放置しないでください。



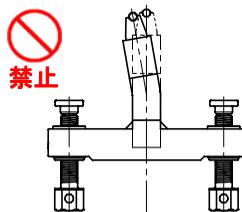
(4) **危険** 高所での取り扱い

- ① **指示** 落下範囲内に作業者がいないことを確認して作業を行ってください。
- ② **指示** 落下高さ 2m 以上の高所にて使用する場合は、治具の落下防止対策を施してください。



(5) ・注意 取り扱いについて

- ① 投下したり、引きずったりして衝撃を与えないでください。作動不良の原因となります。
- ② 本体、部品の改造は、絶対に行わないでください。



(6) ・危険 整備不良品の使用厳禁

- ① 本体開口部の開きや、本体ゆがみ等、本体に異常があるものは使用しないでください。
- ② 締付ボルトの作動状態が悪いものは使用しないでください。
- ③ 必ず作業開始前の点検を実施してください。異常が認められた場合は使用禁止とし、分解点検を行い、部品の手入れ・交換をするか、メーカー（またはメーカー指定の場所）に送付し修理しなければなりません。



4. 保守、保管について

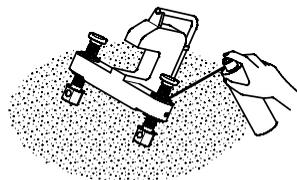
作業終了後は、次の作業に備え下記の要領で手入れを行い、指定の場所に保管しなければなりません。

(1) ・注意 付着物の除去

締付ボルト部にかみ込んだ付着物を、布およびワイヤブラシ等で除去してください。付着物が付着したまま締付ボルトを締め付けると、ねじ部の破損の原因となります。除去不能の場合は、部品の交換を行ってください。

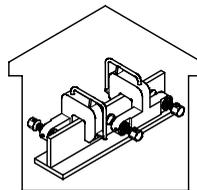
(2) ・注意 注油

締付ボルト・スリーブナットおよび締付パッドの接合部に注油してください。



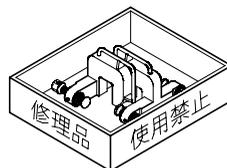
(3) ・注意 保管場所

保管場所は必ず屋内としてください。屋外に放置したり気温変化の大きい場所では、雨・結露により錆等が発生し十分な機能を確保できなくなります。



(4) ・危険 修理品

変形等により修理が必要なものは別な場所に保管し、誤って使用されないようにしてください。廃棄すべきものは、本体にその理由を表示するとともに、別の場所に移し、すみやかに廃棄としてください。



点検箇所

No.	点検箇所	日常点検内容	定期点検内容	
			月例点検	年次点検
A	外観（全体）	表示内容の確認 ノッチ傷・当たり傷のないこと		同左
B	全体機能	締付ボルト，締付パッド，スリーブナットの動きがスムーズなこと		同左 各部がスムーズに作動すること
1	本体	変形・傷がないこと		同左 スリーブナット穴の摩耗・変形がないこと
2-1	締付ボルト	ねじ山の摩耗・傷・変形・割れ・目詰まり 作動不良のないこと		同左 錆のないこと
2-2	締付パッド	摩耗・傷・変形・作動不良のないこと		同左 錆のないこと
2-3	サークリップ			変形・折損・脱落のないこと
3-1	スリーブナット	外径の摩耗・変形がないこと		同左 ねじ山の摩耗・ガイド溝の摩耗・変形のないこと
3-2	スナップリング	変形・折損・脱落のないこと		同左
3-3	止めねじ	変形・折損・脱落のないこと		同左

- ◆本書の内容に関しては予告なしに変更する場合があります。
- ◆本書の内容について万全を期しておりますが、万一ご不審な点がありましたら弊社営業所までご連絡ください。
- ◆運用の結果の影響については前項にかかわらず責任を負いかねる場合もありますのでご了承ください。
- ◆又、前項に伴い事故の保証は出来かねます。更に、このマニュアル及び治具のトラブルによって発生した機械損失についても、保証は出来かねますのでご了承ください。
- ◆製品のデザイン、仕様は予告なく変更する事があります。



ジロー株式会社

大阪本社	〒550-0013	大阪市西区新町4丁目1番1号	TEL : 06-6541-5496	FAX : 06-6541-3500
岩手出張所	〒024-0094	岩手県北上市本通り4丁目8番26号	TEL : 0197-61-0881	FAX : 0197-61-0882
埼玉営業所	〒333-0816	埼玉県川口市差間3丁目29番42号	TEL : 048-291-3232	FAX : 048-291-3233
神奈川営業所	〒210-0826	川崎市川崎区塩浜1丁目2番3号	TEL : 044-270-3581	FAX : 044-270-3582
東京サービスセンター	〒135-0011	東京都江東区扇橋3丁目5番10号	TEL : 03-5653-3630	FAX : 03-5653-3631
静岡出張所	〒417-0055	静岡県富士市永田町1丁目29番	TEL : 0545-53-2117	FAX : 0545-53-2110
名古屋営業所	〒454-0912	名古屋市中川区野田3丁目206番	TEL : 052-363-2061	FAX : 052-363-2063
広島営業所	〒733-0013	広島市西区横川新町9番20号	TEL : 082-292-1466	FAX : 082-292-2119
北九州サービスセンター	〒805-0068	北九州市八幡東区桃園1丁目1番1号	TEL : 093-661-0990	FAX : 093-661-0511
福岡営業所	〒816-0904	福岡県大野城市大池1丁目6番1号	TEL : 092-503-1051	FAX : 092-503-1260
北海道地区	お問い合わせ先 【0120-959-263】			
ホームページ	http : //www. jiro - kk. co. jp			